

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0 使用評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.3)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日糧製パン(株)デリカ棟増築工事	階数	地上2階
建設地	北海道札幌市	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	95 人
建物用途	工場	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
竣工年	2018年6月 竣工	評価の段階	竣工段階評価
敷地面積	43,952 m ²	評価の実施日	2018年5月1日
建築面積	1,818 m ²	作成者	
延床面積	3,467 m ²	確認日	2018年5月7日
		確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.5 ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

環境品質 Q

環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	83%
③上記+②以外の	83%
④上記+	83%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能

Q1 室内環境

Q3 室外環境(敷地内)

LR1 エネルギー

LR2 資源・マテリアル

LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 2.0

Q1 室内環境 Q1のスコア= 2.4

音環境	1.8
温熱環境	2.4
光・視環境	1.5
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 2.5

機能性	2.1
耐用性	2.8
対応性	2.7

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 1.4

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性	1.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 2.9

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.3

建物外皮の	N.A.
自然エネルギー	3.0
設備システ	4.0
効率的運用	2.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.4

水資源保護	2.2
非再生材料の	2.4
汚染物質回避	2.6

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.7

地球温暖化	3.6
地域環境	2.0
周辺環境	2.7

3 設計上の配慮事項	
総合	A 省エネルギー 省エネ法に基づく基準に適合した計画とする
B 省資源等 事業系廃棄物保管場所を明確に確保し、排出量をデータ管理することで省資源の配慮を行う	D 雪処理 十分な駐車スペースを確保することで、冬期間の除排雪が容易に行える計画とする
C 緑化 札幌市緑の保全と創出に関する条例に基づく緑化計画とする	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

CASBEE札幌2016(ver.1.3)
日産製パンデリカ棟増築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0
欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE札幌2016 (ver.1.3)

スコアシート		竣工段階		建物全体-共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.0
Q1 室内環境					0.30		-	2.4
1 音環境				1.8	0.15		-	1.8
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-	
1.2 遮音				1.0	0.40		-	
1 開口部遮音性能				1.0	0.60		-	
2 界壁遮音性能				1.0	0.40		-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-	
1.3 吸音				1.0	0.20		-	
2 温熱環境				2.4	0.35		-	2.4
2.1 室温制御				3.0	0.50		-	
1 室温				3.0	0.38		-	
2 外皮性能				3.0	0.25		-	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-	
2.2 湿度制御				3.0	0.20		-	
2.3 空調方式				1.0	0.30		-	
3 光・視環境				1.5	0.25		-	1.5
3.1 昼光利用				1.8	0.30		-	
1 昼光率				1.0	0.60		-	
2 方位別開口					-		-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-	
3.2 グレア対策				1.0	0.30		-	
1 昼光制御				1.0	1.00		-	
2 映り込み対策					-		-	
3.3 照度				3.0	0.15		-	
3.4 照明制御				1.0	0.25		-	
4 空気質環境				3.8	0.25		-	3.8
4.1 発生源対策				5.0	0.50		-	
1 化学汚染物質				5.0	1.00		-	
4.2 換気				3.0	0.30		-	
1 換気量				3.0	0.33		-	
2 自然換気性能				3.0	0.33		-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33		-	
4.3 運用管理				2.0	0.20		-	
1 CO ₂ の監視				1.0	0.50		-	
2 喫煙の制御				3.0	0.50		-	

Q2 サービス性能			—	0.30	-	-	2.5
1 機能性			2.1	0.40		-	2.1
1.1 機能性・使いやすさ			1.6	0.40		-	
1 広さ・収納性			3.0	0.33		-	
2 高度情報通信設備対応			1.0	0.33		-	
3 バリアフリー計画			1.0	0.33		-	
1.2 心理性・快適性			2.3	0.30		-	
1 広さ感・景観 (天井高)			3.0	0.33		-	
2 リフレッシュスペース			3.0	0.33		-	
3 内装計画			1.0	0.33		-	
1.3 維持管理			2.5	0.30		-	
1 維持管理に配慮した設計			3.0	0.50		-	
2 維持管理用機能の確保			2.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性			2.8	0.30		-	2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50		-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80		-	
2 免震・制震・制振性能			3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数			2.8	0.30		-	
1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20		-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		省資源	2.0	0.20		-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		省資源	3.0	0.10		-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		省資源	3.0	0.10		-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		省資源	3.0	0.20		-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		省資源	3.0	0.20		-	
2.4 信頼性			2.6	0.20		-	
1 空調・換気設備			3.0	0.20		-	
2 給排水・衛生設備			2.0	0.20		-	
3 電気設備			3.0	0.20		-	
4 機械・配管支持方法			3.0	0.20		-	
5 通信・情報設備			2.0	0.20		-	

3 対応性・更新性			2.7	0.30		-	2.7
3.1 空間のゆとり			2.0	0.30		-	
1 階高のゆとり			2.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ			2.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40		-	1.4
1 生物環境の保全と創出	緑化		1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	緑化		2.0	0.40		-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.0	0.30		-	1.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	雪処理		1.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化		1.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-		-	2.9
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネ			-		-	
2 自然エネルギー利用	省エネ		3.0	0.13		-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネ	[BEI][BEIm] = 0.70	4.0	0.63		-	4.0
4 効率的運用			2.0	0.25		-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00		-	
4.1 モニタリング	省エネ		3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制	省エネ		1.0	0.50		-	
集合住宅の評価				-		-	
4.1 モニタリング	省エネ			-		-	
4.2 運用管理体制	省エネ			-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	2.4
1 水資源保護			2.2	0.20		-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60		-	2.4
2.1 材料使用量の削減	省資源		2.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用	省資源		3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	-	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	-	1.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材	省資源		2.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	省資源		3.0	0.20		-	

3 汚染物質含有材料の使用回避			2.6	0.20		-	2.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			2.5	0.70		-	
1	消火剤	省資源	-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	省資源	2.0	0.50		-	
3	冷媒	省資源	3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	2.7
1 地球温暖化への配慮		省資源	LCCO2排出率を参照値以下		3.6	0.33	3.6
2 地域環境への配慮			2.0	0.33		-	2.0
2.1 大気汚染防止		省資源	3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		省資源 敷地外処理	1.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.2	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	省資源	3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		敷地内での適切な駐車台数の確保		4.0	0.25	-
4	廃棄物処理負荷抑制	省資源 敷地外処理	3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33		-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.33		-	
2	振動		3.0	0.33		-	
3	悪臭		3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制			-		-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70		-	
2	昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2016v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2016(ver.1.3)

1 建物概要						
建物名称	日糧製パン(株)デリカ棟増築工事		BEE	0.5	BEEランク	B ⁻
建物用途	工場					
延床面積	3,466.9	m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	<p>省エネルギー性能</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>雪処理</p> <p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>
	省資源等	
	緑化	
	雪処理	

3. 重点項目のCASBEEスコア						
A 省エネルギー (最高点 22.3 最低点 6.7)				合計	14.4点 /22.3点	
Q1 温熱環境	スコア	0.4 /0.7	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	0.0 /0.0	
Q1 光・視環境	スコア	0.5 /1.6	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.5 /2.5	
			LR1 設備システムの高効率化	スコア	10.0 /12.5	
			LR1 効率的運用	スコア	2.0 /5.0	
B 省資源等 (最高点 24.4 最低点 7.8)				合計	11.8点 /24.4点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.6 /1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	4.3 /9.0	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.6 /3.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.1 /1.9	
			LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.6 /5.0	
			LR3 地域環境への配慮	スコア	1.6 /4.4	
C 緑化 (最高点 19.5 最低点 3.9)				合計	5.5点 /19.5点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	1.2 /6.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.5 /2.5	
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	3.2 /8.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.6 /3.0				
D 雪処理 (最高点 3.0 最低点 0)				合計	0.0点 /3.0点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0 /1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.0 /2.0	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■重点項目の**最高点**は、各評価項目で**レベル5**で評価された場合の点数
 ■重点項目の**最低点**は、各評価項目で**レベル1**で評価された場合の点数